

# Ao Dai Fund Monthly Report

【お問い合わせ】

フリーダイヤル: 0120-411-965

ホームページURL: <http://www.news-sec.co.jp>

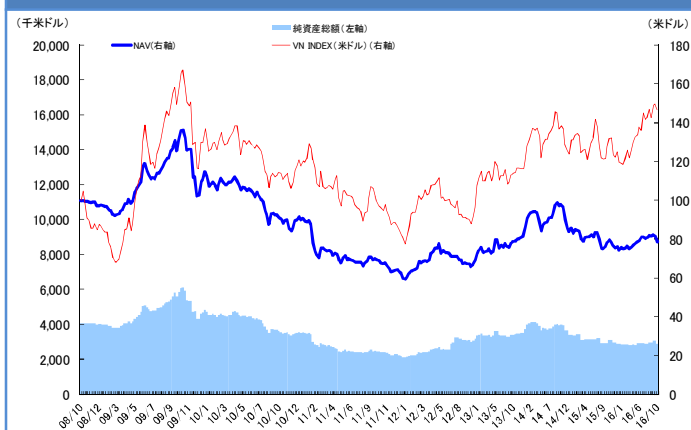


## アオザイ月次レポート

### 16年10月 アオザイ運用実績 (16/10/31現在)

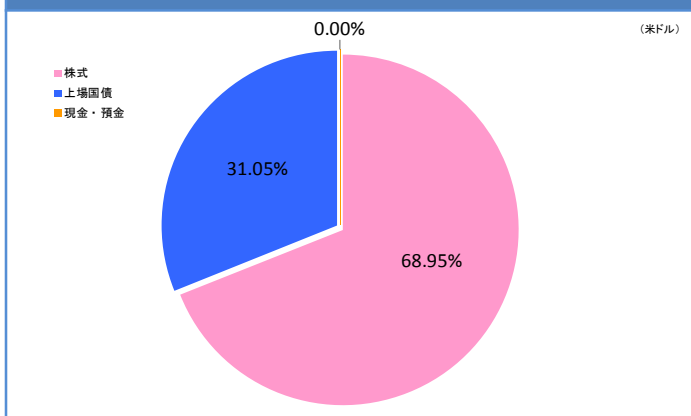
基準価額(米ドル)	
78.36	
前月比(16/9/30～)	-3.92 -4.76%
設定来(08/11/30～)	-21.64 -21.64%
年初来(15/12/31～)	+2.11 +2.77%
ファンド口数	前月比
37,027	-
ファンド純資産額(米ドル)	前月比
2,901,645	-161,421

### NAVと純資産の推移 (設定来～)



※NAV(米ドルベース)、VN Index(米ドルベースを設定日100として指数化)

### 16年10月 組入比率(全資産) (16/10/31現在)



### 16年10月 組入上位銘柄(株式) (16/10/31現在)

	銘柄(コード)	市場	比率
1	ベトナムコンテナ (VSC)	V	16.04%
2	ベンチャー水産 (ABT)	V	7.97%
3	ベトナムダバコ(DBC)	H	7.86%
4	ペトロベトナムガス (GAS)	V	7.39%
5	リー冷蔵電気工業 (REE)	V	6.97%
6	ペトロベトナム低圧ガス販売 (PGD)	V	6.59%
7	ペトロベトナム技術サービス (PVS)	H	6.02%
8	フーニョアンジュエリー (PNJ)	V	5.94%
9	軍隊商業株式銀行 (MBB)	V	5.65%
10	FPT (FPT)	V	4.70%
その他			24.88%
(計)			100.00%

※市場の「V」はHOSE上場銘柄、「H」はHNX上場銘柄

### 16年10月 組入上位セクター(株式) (16/10/31現在)

セクター	比率	
1	石油・ガス	23.14%
2	輸送・物流	16.04%
3	電力	10.80%
4	水産	9.56%
5	銀行・金融	8.28%
6	不動産開発・建設	5.46%
7	通信・IT	4.70%
8	肥料	3.73%
9	軽工業	1.23%
その他		17.05%
(計)		100.00%

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】  
 加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会  
 主な事業 金融商品取引業

●本資料は、ニュースFPTキャピタルトラストベトナムバランスファンド(愛称 アオザイ)の運用状況に関する情報提供を目的に、FPT・ファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーが作成したレポートを基に、日本における販売証券会社であるニュース証券株式会社が作成したものです。●本資料は、ファンドの取引を勧誘又は推奨するものではなく、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。  
 ●本資料は、信頼しうる情報に基づいて作成されていますが、その確実性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、本資料の過去の実績に関する数値等は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドは値動きのある金融商品等に投資しますので、基準価額が変動し損失が生じるおそれがあります。従って、投資元本が保証されているものではなく、ファンドの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。●ファンドは預金保険の対象ではございません。投資をされる際には、投資リスク及びご負担頂く手数料等の諸費用について目録見書(投資信託説明書)をご確認ください。

# Ao Dai Fund Monthly Report

【お問い合わせ】

フリーダイヤル: 0120-411-965

ホームページURL: <http://www.news-sec.co.jp>



## マーケット・コメント

10月のVN インデックスは、前月末の685.73から1.4%下落して675.80で終了した。また、HNXインデックスは3.24%下落して、82.25で終わった。VN インデックスは、680と690の間で、上下したが、結局690の強い天井を破れなかった。VN 30に含まれる株のうち、HPCやVN Mなどの極少数の銘柄が、第3四半期の業績が強かったため買われたが、VN M, BVH, MSN、VCB など、多くの大型株が調整した。なかでも、ガス石油関連銘柄の業績は、売上、収益とも大きく減少した。例えば、GASは売上が12.3%減、利益は58.7%、PVD は、それぞれ、68.5%と94.5%減となった。670から675のサポートレベルを試すところまで、下落したことから、市場は非常に弱気になっている。外人投資家は、ホーチミン市場では、710万ドン、ハノイ市場では、400万ドンとわずかの買い越しだった。

CPI は、前月比0.83%、年初来4.00%上昇した。コアの物価上昇は、前月比、0.07%、年初来1.86%であった。

中央銀行の対米ドル参考為替レートは、9月16日に比べ、0.4%上昇して22,039ドンであった。この10か月の貿易収支が35.2億ドルの黒字との報にもかかわらず上場した(弱含んだ)のは、米国のFOMCと11月の大統領選の結果によるもの。対ユーロや人民元に対しては低位安定であった。

## 株式指数データ (16/10/31現在)

	終値	前月末比	
VN Index	675.80	-1.45%	
HNX Index	82.25	-3.24%	
(参考)	日経平均	17425.02	+5.93%
	NYダウ30種	18142.42	-0.91%
	MSCI	1690.92	-2.01%
	MSCI EM	905.09	+0.18%

VN Index: ベトナム・ホーチミン証券取引所株価指数

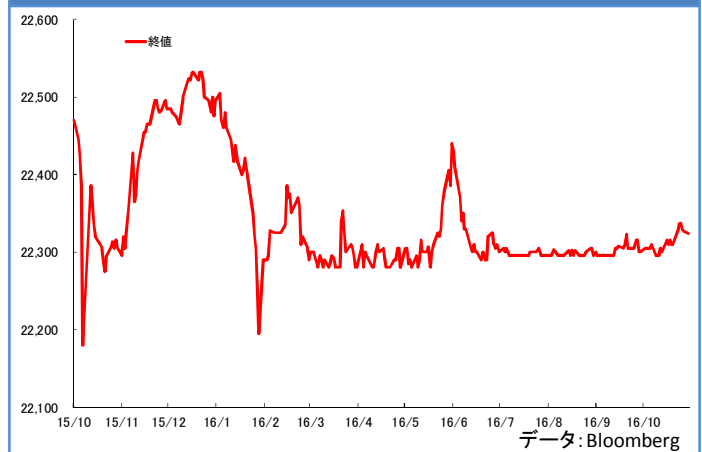
HNX Index: ベトナム・ハノイ証券取引所株価指数

MSCI: モルガン・スタンレー・ワールド株式指数

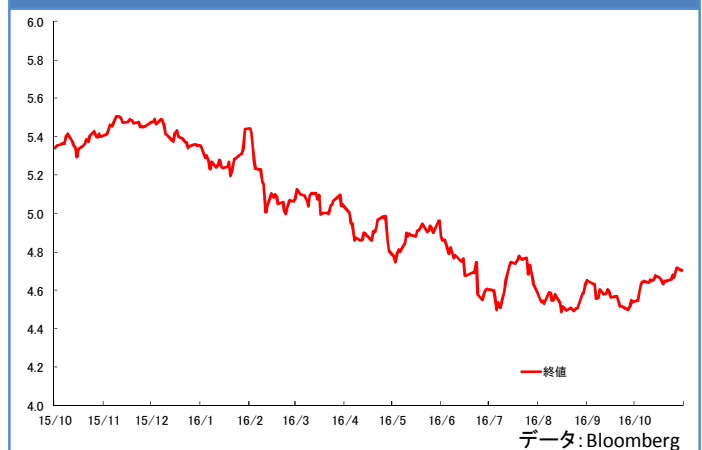
MSCI EM: モルガン・スタンレー・エマージング株式指数

データ: Bloomberg

## 為替推移 (VND/USD) (16/10/31現在)



## 為替推移 (JPY/VND × 1,000) (16/10/31現在)



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】  
加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会  
主な事業 金融商品取引業

●本資料は、ニュースFPTキャピタルトラストベトナムバランスファンド(愛称 アオザイ)の運用状況に関する情報提供を目的に、FPT・ファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーが作成したレポートを基に、日本における販売証券会社であるニュース証券株式会社が作成したものです。●本資料は、ファンドの取引を勧誘又は推奨するものではなく、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。  
●本資料は、信頼しうる情報に基づいて作成されていますが、その確実性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、本資料の過去の実績に関する数値等は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドは値動きのある金融商品等に投資しますので、基準価格が変動し損失が生じるおそれがあります。従って、投資元本が保証されているものではなく、ファンドの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。●ファンドは預金保険の対象ではございません。投資をされる際には、投資リスク及びご負担頂く手数料等の諸費用について目録見書(投資信託説明書)をご確認ください。

# Ao Dai Fund Monthly Report

【お問い合わせ】

フリーダイヤル: 0120-411-965

ホームページURL: <http://www.news-sec.co.jp>



## マーケット・コメント

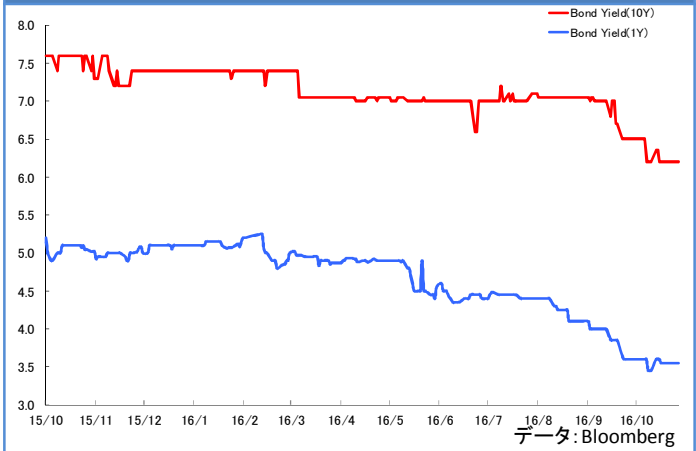
年初来の輸出は1,441億ドルとなり、前年同期比7.2%増であった。内訳として国内経済部門は414億ドルで、同4.9%増、FDI(外国直接投資)部門は1,027億ドルで8.1%増であった。相手国別では、米国が依然として最大で、318億ドル、前年同期比15%増であった。次いで、EUが273億ドル、同7.4%増、中国173億ドル、23.9%増、日本、120億ドル、3.4%増、韓国95億ドル、同29.1%。アセアン諸国は、142億ドル、同7.6%増であった。一方輸入では、年初来の総額は1,406億ドル、前年同期比2.1%増となった。国内経済部門では、574億ドル、2.4%増、FDI部門では832億ドル、1.9%増であった。相手国では、中国が依然最大で403億ドル1.2%減、次の韓国は258億ドル、10.8%増、アセアン諸国では、191億ドル、2.8%減、日本、122億ドル、1.7%増、EU 91億ドル、6.4%増、米国67億ドル、0.6%増となった。10か月間の貿易収支は35億2千万ドルであった。

10月の購買主任者指数(PMI)は、大きく減少して、52.9から51.7となった。これは、2016年3月以降で最低の数字。

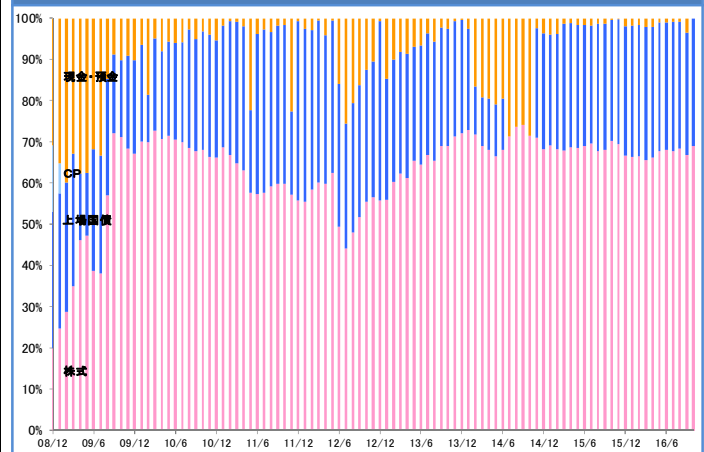
マクロ経済を見ると、第4四半期は、成長を維持して安定的に推移すると見られる。インフレ率の増加と財政収支の赤字については、政府は早期から認識しており、コントロール可能と考えられる。足元の市場は、調整期だがいずれ好材料が出たときに再度上昇すると期待される。

11月のVN インデックスは、最初の2週間は670近辺で停滞するだろう。11月8日の米国大統領選挙後は、方向がよりはっきりし、手元に現金を持つ投資家は、安値圏にある株を再度買い始めると思われる。10月末のファンドの株式比率は、68.95%であった。(前月は66.83%)

## 金利推移(1年&10年国債)(16/10/31現在)



## 資産組入れ比率の推移(16/10/31現在)



## 【管理運用会社】

FPT Fund Management Joint Stock Company.

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】  
 加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会  
 主な事業 金融商品取引業

●本資料は、ニュースFPTキャピタルトラストベトナムバランスファンド(愛称 アオザイ)の運用状況に関する情報提供を目的に、FPT・ファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーが作成したレポートを基に、日本における販売証券会社であるニュース証券株式会社が作成したものです。●本資料は、ファンドの取引を勧誘又は推奨するものではなく、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。  
 ●本資料は、信頼しうる情報に基づいて作成されていますが、その確実性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、本資料の過去の実績に関する数値等は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドは値動きのある金融商品等に投資しますので、基準価格が変動し損失が生じるおそれがあります。従って、投資元本が保証されているものではなく、ファンドの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。●ファンドは預金保険の対象ではございません。投資をされる際には、投資リスク及びご負担頂く手数料等の諸費用について目録見書(投資信託説明書)をご確認ください。

# Ao Dai Fund Monthly Report

【お問い合わせ】

フリーダイヤル: 0120-411-965

ホームページURL: <http://www.news-sec.co.jp>



## お申込メモ

お申込単位	10口以上 1口単位	
お申込価格	原則15日と月末日を基準日とする受益証券の1口当り純資産価格 ※基準日の翌営業日に計算・確定され、基準日の翌々営業日に判明いたします。	
お申込日	基準日の1営業日前 12:00を締切といたします。	
払込日	1口当りの純資産価格判明日(原則基準日の翌々営業日)を国内約定日として、その3営業日後を払込日といたします。	
お申込手数料	1口純資産価格(米ドル) × お申込口数に下記のお申込手数料を加算した金額を申し受けます。	
	1,000口未満	3.240% (税抜3.000%、税0.240%)
	1,000口以上10,000口未満	2.700% (税抜2.500%、税0.200%)
	10,000口以上50,000口未満	2.160% (税抜2.000%、税0.160%)
	50,000口以上100,000口未満	1.620% (税抜1.500%、税0.120%)
100,000口以上	1.080% (税抜1.000%、税0.080%)	
設定日	2008年10月31日(金)	
信託期間	無制限 ※ファンド資産が一定の水準を下回った場合は管理会社の裁量で償還する場合がございます。	
決算日	毎年12月末 ※設定後、最初の決算は2009年12月末といたします。	
営業日	東京、ベトナム、香港及びニューヨークにおいて銀行が営業することを許可された日といたします。 ※受託会社が作成するファンドカレンダーをご覧ください。	
分配方針	管理会社の裁量によって、分配することができます。	

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】  
 加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会  
 主な事業 金融商品取引業

●本資料は、ニュースFPTキャピタルトラストベトナムバランスファンド(愛称 アオザイ)の運用状況に関する情報提供を目的に、FPT・ファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーが作成したレポートを基に、日本における販売証券会社であるニュース証券株式会社が作成したものです。●本資料は、ファンドの取引を勧誘又は推奨するものではなく、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。  
 ●本資料は、信頼する情報に基づいて作成されていますが、その確実性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、本資料の過去の実績に関する数値等は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドは値動きのある金融商品等に投資しますので、基準価格が変動し損失が生じるおそれがあります。従って、投資元本が保証されているものではなく、ファンドの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。●ファンドは預金保険の対象ではございません。投資をされる際には、投資リスク及びご負担頂く手数料等の諸費用について目録見書(投資信託説明書)をご確認ください。



# Ao Dai Fund Monthly Report

【お問い合わせ】

フリーダイヤル: 0120-411-965

ホームページURL: <http://www.news-sec.co.jp>



## 主なリスク

本ファンドには下記にあげるリスク等が存在いたします。ご投資に際しては、目論見書等ご覧いただき、本ファンドのリスクをよくご理解していただいた上で、投資家ご自身のご判断により、ご投資いただきますようお願い申し上げます。本ファンドへのご投資には、『投資確認書』を承りますのでご理解を賜りますようお願い申し上げます。

価格変動のリスク	本ファンドの主な投資対象は、ベトナムにおける有価証券等です。その投資対象である有価証券等の価格の変動に伴い、本ファンドの純資産額は大きく変動いたします。これにより、ご投資いただいた投資元本を割込むことがございます。
信用リスク	本ファンドが投資を行う有価証券等の価格は、その有価証券を発行する企業の経営及び財務状況の変化、ならびにそれらの外部評価の変化、その他の信用状況の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。本ファンドは格付機関等による格付けを取得していません。
カントリーリスク	本ファンドの主な投資対象であるベトナムにおける有価証券等には、ベトナム特有のリスクが存在します。詳細は別途ベトナム株式等へ投資する際のリスクをご覧ください。
流動性リスク	本ファンドでは、買戻しに際して、原則 週1回の買戻し請求日にしか、買戻しができません。
為替リスク	本ファンドは米ドル建てであり、主な投資対象はベトナムにおける有価証券等であり、その通貨はベトナム・ドンで運用されております。原則として、為替ヘッジ等為替リスクを回避する手段を講じません。よって、本ファンドは為替変動による差損により、ご投資いただいた投資元本を割りこむことがございます。

## ベトナム株式等へ投資する際のリスク

政治的リスク	ベトナムは、単一政党がすべての政府決定を担う社会主義体制であり、また現在、広範囲に及ぶ経済および法改革を実施している過程にある。改革の推進力が継続するかどうか、また、改革が成功であるかどうかは不確実である。さらに、ベトナムの法制は将来大幅に変更されることが予想されるため、将来の展開を予測または予期することは困難である。これらの変更がファンドの投資の価値に悪影響を与えることがある。
経済的リスク	ベトナムは日本をはじめ他国より国家支援を受けており、経済そのものへの他国の関与が大きい。また、輸出における米国および日本の比率が高く、主な輸出国である両国の経済動向に国内経済が大きく影響される可能性がある。政治体制の変化・政策の変化・法規制の強化等により、経済への大きな影響が発生する可能性がある。
関連法令の不確実性	ベトナムにおける有価証券市場および有価証券投資の法的枠組は最近改正され、本書提出日現在、完全には実施されていない。これがファンドの投資業績に影響を与える可能性がある。
法的リスク・税の不確実性	ベトナムの法律制度が投資家およびビジネス社会にとってより高い水準の信頼性および安心を与えるものとなるのはいつのことが予測することは困難である。加え、ベトナム税法ならびに税査定、徴収および税額控除制度は発展途上にある。今後法整備・税制度の変更により、当ファンドの運用に悪影響を及ぼすことがある。
ベトナム株式取引のリスク	ファンドが投資するベトナム証券市場に上場している株式の価格は、ベトナム証券市場が2000年に創設されたばかりの証券市場であり、先進国等のより発展した証券市場に比べ規模が小さく、流動性が乏しく、法整備等も緩く、証券市場全体が非常に不安定であることなどを理由に大きく変動してしまう可能性がある。
為替リスク	ファンドは、その他の通貨に自由に交換できないベトナムドン建てで投資を行い、収益を得る予定である。したがって、為替変動により、さらに、投資家はファンドが米ドル建てであり、投資家は、購入受益証券の買戻しの請求により米ドル以外の購入通貨で買戻し金を受領するときは、米ドルによる受益証券の価値が上昇しているにもかかわらず、その時の為替相場の状況次第では損失を被り、買戻し金が投資元本を下回る結果となる可能性がある。
未上場企業への投資リスク	ファンドは、資産の15%を限度にOTC取引を含む非上場株式への投資を行うことができる。非上場株式は、流動性が低く、情報開示においても十分な場合が多い。投資会社の財務状況の悪化や倒産等により価格が急激な低下もしくは価値が0になる可能性がある。
取引相手先リスク (カウンターパーティーリスク)	管理会社は現地証券取引を行う証券会社の選定に細心の注意を払うが、決済日が約定日と異なる取引において、取引の相手側が受渡を決済日に履行しない場合には受渡が遅れる可能性がある。また、最悪の場合(相手方の倒産など)には、受渡自体が約束どおりに行われない可能性がある。また、現地取次先証券会社による注文執行の際に、注文状況により執行が遅れる可能性がある。

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】  
加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会  
主な事業 金融商品取引業

●本資料は、ニュースFPTキャピタルトラストベトナムバランスファンド(愛称 アオザイ)の運用状況に関する情報提供を目的に、FPT・ファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーが作成したレポートを基に、日本における販売証券会社であるニュース証券株式会社が作成したものです。●本資料は、ファンドの取引を勧誘又は推奨するものではなく、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。  
●本資料は、信頼しうる情報に基づいて作成されていますが、その確実性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、本資料の過去の実績に関する数値等は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドは流動性のある金融商品等に投資しますので、基準価格が変動し損失が生じるおそれがあります。従って、投資元本が保証されているものではなく、ファンドの運用による損益はすべて投資家の皆様へ帰属します。●ファンドは預金保険の対象ではございません。投資をされる際には、投資リスク及びご負担頂く手数料等の諸費用について目論見書(投資信託説明書)をご確認ください。